

2008年6月20日(6/24)

松岡 俊二

IR3S・WISPJ マクロ班・第1回研究会メモ

1. 研究計画案

松岡案

地球温暖化問題の政治経済学(環境経済学)

栗田案

環境問題の認識とその温度差:日中韓比較分析

吉田案

わが国の温暖化対策に関わる行政過程の分析:わが国の国内対策の進捗をどう評価すべきか

瀬川案

温暖化問題とマスメディアの言説:「環境実践」に結びつかない言説構造の分析

太田案

企画案-1: 気候変動政策における G8 サミットの意義と役割

企画案-2: 気候変動緩和レジームとオゾン層保護レジーム間の相互連関の研究

企画案-3: 日米の気候変動政策にみる国益と「地球益」

2. ロードマップについて

6/20 第1回・研究打合せ

10月頃 第2回研究会

12月頃 第3回研究会

2009年

2月頃 第4回研究会

3月末 原稿

6/20 追加

中村英俊

「気候変動レジーム形成における EU のリーダーシップ:削減目標設定と排出量取引制度(ETS)の意義」

6/24 メモ

日本の温暖化対策はなぜ進まないのか?

日本の政治的意思決定の弱さ・難しさ

1990年以降の利害調整の難しさ

内向きの思考

東アジアの難しさ

ジャーナリズム・マスコミの動向→人々の意識（世論）→

（社会的行為・行動→市民・環境 NGO・企業・政府←政策決定・政治的意思決定）←制度